

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名	
授 業 科 目 名	成人看護援助論Ⅴ (緩和ケアを必要とする人 の看護)	学 期	前期	八塔 累子 (看護師)	
		単 位 数	1		
		時 間 数	30		
目 的 (ねらい)	緩和ケアを必要とする患者の全人的苦痛と家族の苦痛や苦悩を多面的にとらえ理解し、 個々の苦痛の緩和とQOL向上を目指した緩和ケアアプローチについて考える。				
目 標	1. 緩和ケアが必要な患者と家族の全人的苦痛について理解できる。 2. 症状緩和のためのアセスメントと援助方法が理解できる。 3. 緩和ケア領域における倫理的課題を理解し、価値観について考えることができる。 4. 家族ケア、遺族ケアの必要性とケアが理解できる。				
授 業 計 画	回数	単元項目	内 容	授業形態	
	1	緩和ケア概論	① 緩和ケアの歴史と発展 ② 緩和ケアの定義、概念	講義	
	2-3	緩和ケアにおけるチーム アプローチ	① チームアプローチの意義 ② チームアプローチにおける専門性 ③ チームアプローチにおける看護師の役割	講義	
		緩和ケアにおけるコミュ ニケーション	① 看護師のコミュニケーションの意義 ② コミュニケーション・スキル・プログラム ③ むずかしい場面でのコミュニケーション	講義	
	4-5 6-7	全人的ケアの実践 1)	1) 主な身体的苦痛のマネジメントとケア ① 痛み ② 呼吸困難 ③ 消化器症状 ④ 食欲不振, 倦怠感	講義	
	8-9	全人的ケアの実践 2)	2) 主な精神症状と対応 ① 不安 ② せん妄 ③ 抑うつ ④ 鎮静	講義	
		全人的ケアの実践 3)	3) スピリチュアルペインについての考え方	講義 演習	
	10-11	全人的ケアの実践 4)	4) 社会的苦痛と支援 ① 療養場所の広がり ② さまざまな疾患における広がり	講義	
		緩和ケアの対象者の広がり 医療スタッフのケア	① ストレスマネジメント ② マインドフルネス	講義	
	12-13	緩和ケアにおける倫理	① 看護倫理 ② 緩和ケアをめぐる倫理的課題 ③ 意思決定支援 ④ インフォームドコンセント ⑤ アドバンス・ケア・プランニング	講義・演習	
	14-15	臨死期のケア 家族ケア	① 臨死期における全人的苦痛とケア ② 看取りとエンゼルケア ① 家族の定義、家族ケアの必要性 ② 家族アセスメント ③ 家族ケア	講義 演習 講義	
	教 科 書	系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院			
	参 考 文 献	授業において、その都度紹介する。			

評価方法	<p>定期試験、グループワークの内容(態度)、提出物の内容・提出状況により総合的に評価する。</p> <p>合計 100 点満点での結果を最終評価とする。</p>
関連科目	<p>基礎分野：心理学、社会学、教育学、カウンセリング理論と技法 専門基礎分野：解剖生理学、栄養学、病理学、薬理学 専門分野：基礎看護学、在宅看護論、老年看護学、精神看護学</p>
自己学習に関する指針	<p>解剖生理学・病理学・成人看護学概論、成人看護援助論で学んだ知識を踏まえて授業を展開する。</p>
その他の通知事項	<p>随時質問に応じる。</p>